

週間聖書勉強の学び

＜使徒パウロが教えている「良心」について＞

林明基牧師

一般的に「良心」とは「道徳的判断をなし、自己の行為、心情にかかわって正善を意志、命令し、悪を悔い退ける全人格的意識。」(ブリタニカ国際大百科事典)を言います。簡単に言えば、善と悪を判断する心です。使徒パウロはローマの信徒への手紙(2:15、9:1、13:5)やコリントの信徒への手紙(I 8:7、10、12、10:25、27、28、29、II 1:12、4:2、5:11)などにおいてこの言葉を使っています。この「良心」のギリシア語の意味は「共に見る・認識する」です。つまり、人間なら誰もがもっている共通認識のことで、判断と行動の基準となるものです。

それをパウロは神様がすべての人間に備えてくださったと教えていました(たとえ律法を持たない異邦人も、律法の命じるところを自然に行えば、律法を持たなくとも、自分自身が律法なのです。こういう人々は、律法の要求する事柄がその心に記されていることを示しています。彼らの良心もこれを証しており、また心の思いも、互いに責めたり弁明し合って、同じことを示しています。/ローマ2:14、15)。

ただ、私たち人間は罪の性質により、善を行い続けることは難しいのです。しかし、この良心に従って行動すれば、悪を避け、善を行うことができるというのです。また、この良心によって罪を犯すと自ら気づくことができるのです。そして、気づいたときに大切なことは悔い改めることです。しかし、悔い改めに至る人と悔い改めようとしない人に分かれてしまいます。そこが神様の存在を認めるか否か、神様を畏れ敬うか否かの信仰の分かれ道となるのです。

使徒パウロは良心が私たち人間の心に刻まれた律法について気づかせるとしていました。特に私たちキリスト者はこの良心によって信仰に生きることができるのです。ただ、すべての人の良心が機能しているとは限りません。汚れた良心(…汚れている者、信じない者には、何一つ清いものはなく、その知性も良心も汚れています。/テス1:15)、焼き印を押された良心(このこと[信仰からの脱落]は、偽りを語る者たちの偽善によって引き起こされるのです。彼らは自分の良心に焼き印を押されており、/テモテ1 4:2)もあります。また、弱い良心(しかし、この[唯一の神以外にいかなる神もないこと]の知識が誰にでもあるわけではありません。ある人たちは、今までの偶像になじんできた習慣にとらわれて、肉を食べる際に、それが偶像に供えられた肉だということが念頭から去らず、良心が弱いために汚されるのです。/コリント18:7)と強い良心(知識を持っているあなたが偶像の神殿で食事の席についているのを、だれかが見ると、その人は弱いのに、その良心が強められて、偶像に供えられたものを食べるようにならないだろうか。

/同8:10)もあります。使徒パウロは強い良心の人が弱い良心の人を無理強いすべきではないと教えています。私たちはしっかりと良心の声に耳を傾けて歩むべきです。



☆前号のクイズの答え……「なにごとあいをもって おこないなさい」

- 下線部が◎の文字：1、なつ 2、やきにく 3、いちご 4、かみさまと 5、もとめ 6、あい
7、いのりなさい 8、主を 9、モーセ 10、つき 11、て 12、おかあさん
13、こうかい 14、なくもの 15、いぬ 16、なし 17、やさい 18、たのしい

★教育部だより第2号の週間聖書勉強の学びを読んで

救われた当初は死ぬも生きるも 主の栄光を表す為に自分が在ると思ひ、世の理不尽な事にも 主と共に歩いてこれた若さがありました。昨今のコロナ禍や 初老を迎えるにあたり、あまりに自分の持ち物の少ないことに不安を感じる一方で、神様が野の花や鳥以上に私を愛してくださった事に 感謝を覚えます。これから先の人生も 主と共に歩めることを熱心に祈り求めたいと思います。京都教会の兄弟姉妹をはじめ、親族に至るまで 救いの業がなされますことを お祈りいたします。

(匿名)



★今年は 本当に色々ありまして、これからも 何がおこるのか？ 神様しか 分かりません。世界に悲しみがいっぱいです。その中でも 人は神様を求めない、信じないでいます。

母が亡くなって、それは悲しい気持ちでいっぱいです。でも 神様に感謝しています、ママが宝物残してくれたのです。それは神様の福音です。本当に 心から 神様に感謝です。ママがいたから、イエス・キリストは 私の救い主だ、と知ることができ、信じるようになりました。

いろいろなメッセージを聞き、その後 みことばを読むと、世界の終わりは もっとも近いです、すごく感じます。

だから、神様に この信仰強められますように、そして 勇気あたえられますように、祈りをしています。私たちは この世に騙されないで、イエス・キリストの正しい道 歩けますように、イエス・キリストを 愛することができますように。祈ります。

しかし、私は主を仰ぎ
わが救いの神を待つ。



わが神は、私の願いを聞かれる。(ミカ書 7:7)



現在の苦しみは、将来わたしたちに現されるはずの栄光に比べると、取るに足りないといわたしは思います。(ローマの信徒への手紙 8:18)

皆に また会えるのを 楽しみにしています。神様の祝福と平和 ありますように。(辻ヴィヴィアナ)

♡♡ 9月27日より教会で礼拝を献げられますこと、感謝です！♡♡ 教育部だより第3号も、無事に発行できました！感謝です。♡♡ 引き続き原稿を募集します。週間聖書勉強で思ったこと、コロナに思うこと、祈ってほしいこと、その他なんでも(^)。女性会会員以外の方からの投稿も歓迎します！♡♡ 原稿は教育部・康玲子まで。メール(crystalsound106@gmail.com) / 教会あて TEL(075-311-5051) / FAX(075-313-3778)、郵送など。

文字数は自由ですが、200~300字を目安に。どうぞよろしく願いいたします。(教育部・康玲子)